

キャリアモデル学習 A 平成18年度 第5回

柴崎 直明 先生

福島大学 理工学群共生システム理工学類  
環境システムマネジメント専攻・教授

回答記入者名： \_\_\_\_\_ 学籍番号： \_\_\_\_\_

回答は、ていねいに、かつ、薄くなく、記述すること。授業終了時あるいは17:50までに教室内で提出すること。

1. 講師の先生の特定の期間、あるいは、生涯にわたるキャリアモデルを考察し記述しないさい。回答は、箇条書きや図表を用いて行うものとする。

(回答)

2. 講師の先生の特定の期間、あるいは、生涯にわたるキャリアパスを考察し記述しないさい。回答は、図表を用い、適宜、図表に補足説明を加筆するものとする。

(回答)

3. 講師の先生がお話になられた分野で活躍する人材像を考察し箇条書きで示しなさい。先生のお話が複数の分野にわたる場合、そのうちの一つを選択して回答しなさい。回答は、まず分野を記述し、そして、考察した人材像を箇条書きしなさい。

(回答)

考察分野： \_\_\_\_\_

人材像： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

4. 講師の先生のお話の中で、啓発を受けたこと、強く印象を受けたことなどを記述しなさい。

5月12日までのレポートをチェックして受講者諸君へ求めるもの

これまで提出されたレポートをチェックしました。卒業に必要な2単位を数合わせのために取得するためだけに、この選択科目の授業を受講しないと思います。毎週90分の時間を費やし、得るものが少ないようでは、受講者諸君にとっても良いことではありません。この授業に限りませんが、常に、受講者諸君には、向上していただきたい。そこで、この授業を通して、キャリアに関連して、皆さんに求めるもの、ぜひ、この機会に修得してほしいことを、適宜、お知らせします。

このようなお知らせが、当該授業の理解と毎週90分の授業で実力をつける一助になればと考えています。そして、2単位ではありますが、教師が教えたいと考えていることと受講者が学びたいと考えていることを、適切に融合できればと考えています。

## 1. キャリアモデルとキャリアパスの理解について

先日の授業レポートを通して、キャリアモデルとキャリアパスについて理解できていない者が散見される。また、キャリアパスとキャリアモデルを逆に理解している者もいる。次に概要を示すので、再認識していただきたい。

### (1) キャリアモデル

キャリアモデルは、これからキャリアを形成していく者の根幹となるものである。

それは、自分が何者であるか、長所、短所、人生の目標、幸せの方向、哲学など自己認識や理念であり、時には、行動規範といった形をとる場合もある。

### (2) キャリアパス

キャリアパスとは、単に履歴書の中の職歴だけを記述したものにとどまらない。社内での人事異動、精神的、職業的な欲求、技術や技能の取得など多岐にわたる。キャリアパスの表現方法の一つは、理念と自己の実現を追求するにあたり、置かれている状況、節目、分岐を認識し、それを表記することである。

## 2. 回答用紙の記入にあたり

### 2. 1 問いを理解して回答

何が問われているのかを確実に認識する。

「なんとなく、そんなようなイメージのことを書けばいいじゃない」という認識はダメである。

問いを理解したら、回答が許容される範囲を理解し、回答する。また、主張したい事項がある場合には、必要最低限の回答を記した上で記述する。

### 2. 2 要求されている回答形式に対応する。

回答が優れた内容であっても、求められている形式を守らなければ、受理されない場合や理解されない場合もある。例えば、「図表を用いて回答しなさい」や「箇条書きにしなさい」と求められているのに、文章を長々と記述している回答者もいる。

### 2. 3 誤字脱字を意識し、漢字も積極的に使う意識を高める

次の表記は、先の回答に見られた誤字の一例である。

誤) 終止雇用            正) 終身雇用

誤) 大学は機械化卒業            正) 大学は機械科卒業

参考) 授業中に聞こえにくいこともあるが、参考までに正式名称を記述する。

なかおか大学? 長岡国立大学? 長野技術大学?    >    国立大学法人長岡技術科学大学

アルプス電機?    >    アルプス電気株式会社

誤字脱字を恐れ、漢字の使用を避け、ひらがなばかりが目立つ回答も散見された。誤字脱字は無いことが望ましいが、あまりにも漢字の少ない文章は品格を疑われる。日常的に辞書を活用する努力、授業に辞書を持参するくらい意識を高める。

### 2. 4 書き言葉と話し言葉を区別する。

日本語は、話し言葉と書き言葉で使い方が異なる。日頃から論文などを読む訓練をし、書き言葉に慣れるように努力する。